

■ 活動記録 ■

◆ 教育事業 ◆

2012年度先端社会研究所における大学院生英語教育事業

大学院生の研究成果海外発信教育支援事業

川端 浩平（関西学院大学先端社会研究所専任研究員）

先端社会研究では大学院生教育支援事業の一環として、大学院生の研究成果を国際学会等を通じて海外へ発信するための支援を行ってきた。これは、本学大学院社会学研究科大学院 GP プログラム「社会の幸福に資するソーシャル・リサーチ教育——ソシオリテラシーの涵養」（2008-2010年度）における同取り組みを継承するかたちで試みられているものである。英語による論文・要旨執筆とプレゼンテーションの指導とともに、海外等への渡航の助成を行った。また、本教育支援事業は、この目的のために本学に既に存在している大学院社会学研究科開講科目（先端社会講義 E）や大学院研究科教育支援事業の取り組みとの連携を通じてより充実した成果を達成することを目指している。本年度は、1名が国際学会での発表（シンガポール国立大学）、6名が JSGSS (Japanese Studies Graduate Summer School、オーストラリア国立大学) に参加し、研究報告を行った。JSGSS には本研究所の専任研究員である川端浩平が同伴した。以下が、参加者の報告概要である。

■Salvage and Salvation : Religion, Disaster Relief, and Reconstruction in Asia Organized (シンガポール国立大学)

日 時：2012年11月23日

会 場：シンガポール国立大学 ARI Seminar Room (Bukit Timah Campus)

主催者：Asia Research Institute, National University of Singapore

報告者：福田 雄（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程）

発表題目：“Toward the Theory of Post-Disaster Ritual”

■The 10th Japanese Studies Graduate Summer School 2013 (オーストラリア国立大学)

日 時：2013年1月27日（日）～1月31日（木）

会 場：オーストラリア国立大学 Hedley Bull Centre

主催者：College of Asia and the Pacific, The Australian National University

報告者：喜田 康稔（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程）

発表日：2013年1月27日（日）15:30-17:00

発表題目：“Representations of the Dead : The Murals in Londonderry (Derry), Northern Ireland”

報告者：三阪 夕芽子（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程）

発表日：2013年1月27日（日）15:30-17:00

発表題目：“The Rise of Religion in Areas of Poverty: A Case of Pentecostal Christianity in Sub-Saharan Africa”

報告者：三田 英信（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程）

発表日：2013年1月27日（日）15:30-17:00

発表題目：“Sensing the Atmosphere and Face-to-face Communication”

報告者：濱田 武士（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程）

発表日：2013年1月29日（火）09:00-11:00

発表題目：“Preserving Memories: A Case of a Designation of Hiroshima A-Bomb Dome as a World Heritage Site”

報告者：藤井 和子（関西学院大学大学院社会学研究科博士課程後期課程）

発表日：2013年1月30日（水）16:00-18:00

発表題目：“Identities of Returnees: The Life History of an Iki Island Asparagus Farmer”